

III 外出・地域での活動

III-1 外出について

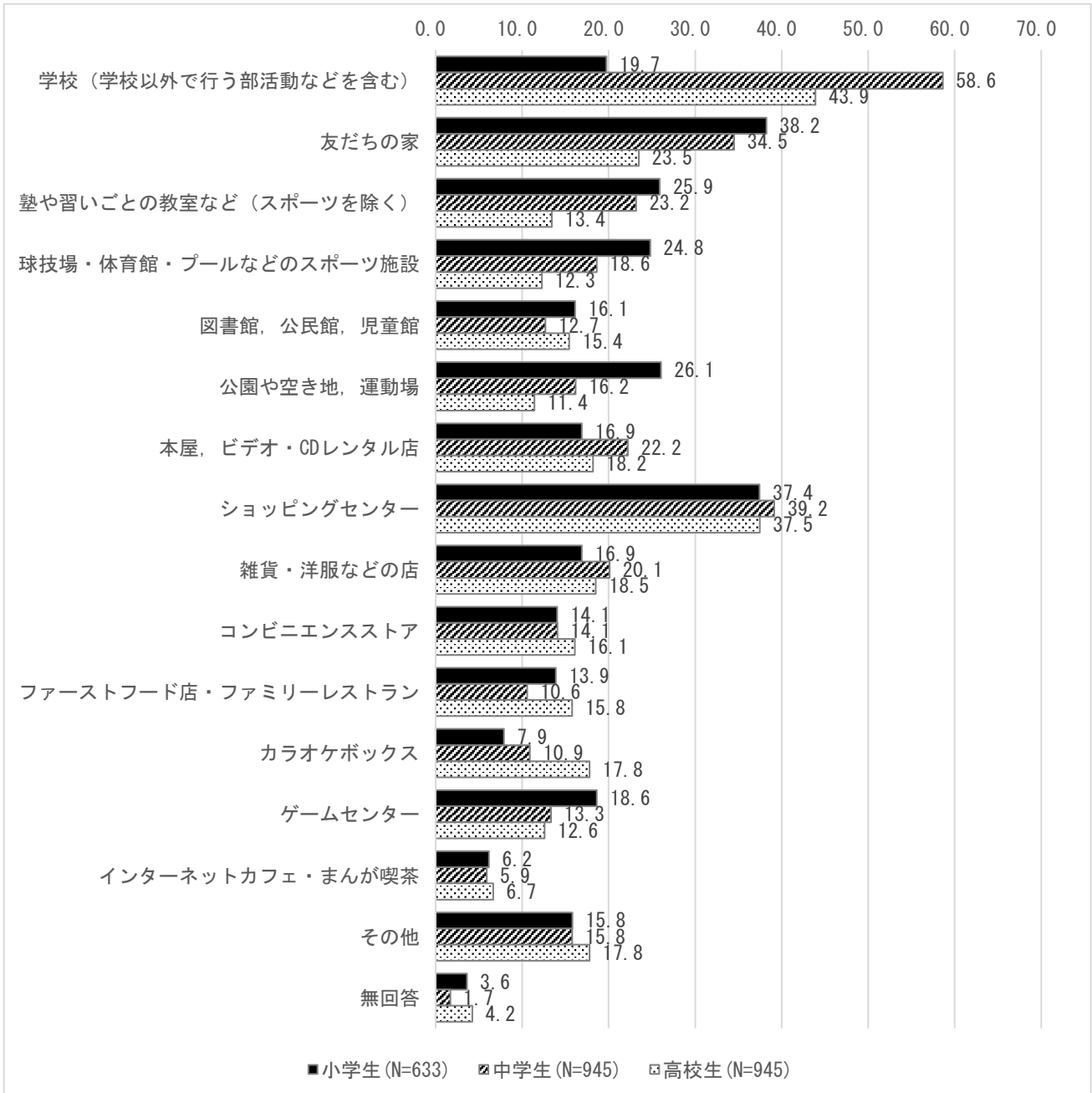
[小・中学生 問9] [高校生 問7]

あなたは、放課後やふだんの休みの日に、自宅以外では、主にどこで、どのくらいの時間を過ごしていますか。（複数回答）

(1) 休みの日

【ア 過ごす場所】[小・中学生, 高校生]（複数回答）

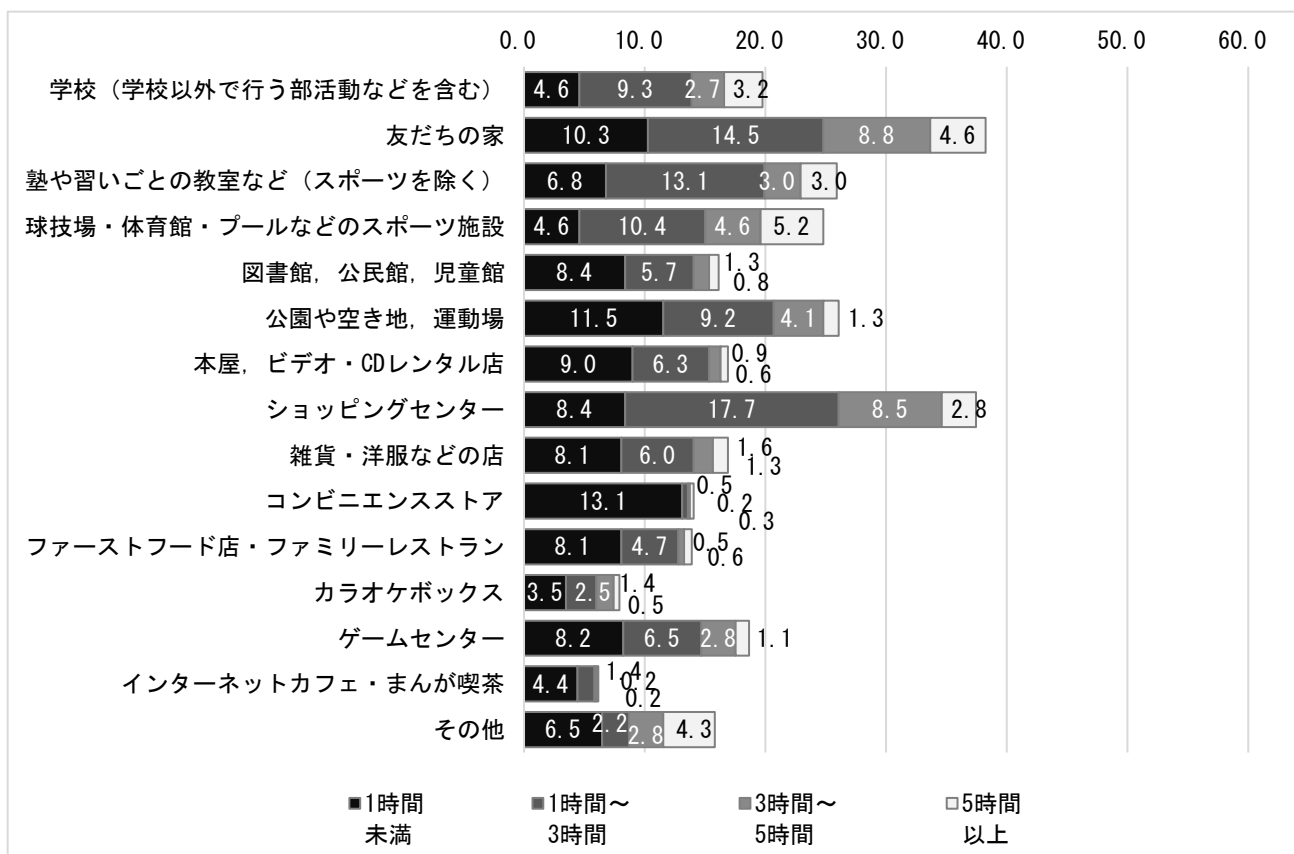
(%)



中学生・高校生では休日にも部活動など学校で過ごす割合が高く、中学生では58.6%が学校で過ごしている。学校以外では「ショッピングセンター」で過ごす割合が最も高く、次いで「友だちの家」が高くなっている。小学生では「公園や空き地、運動場」「球技場・体育館・プールなどのスポーツ施設」で過ごす割合が高いが、学校段階の進行に従い低下している。

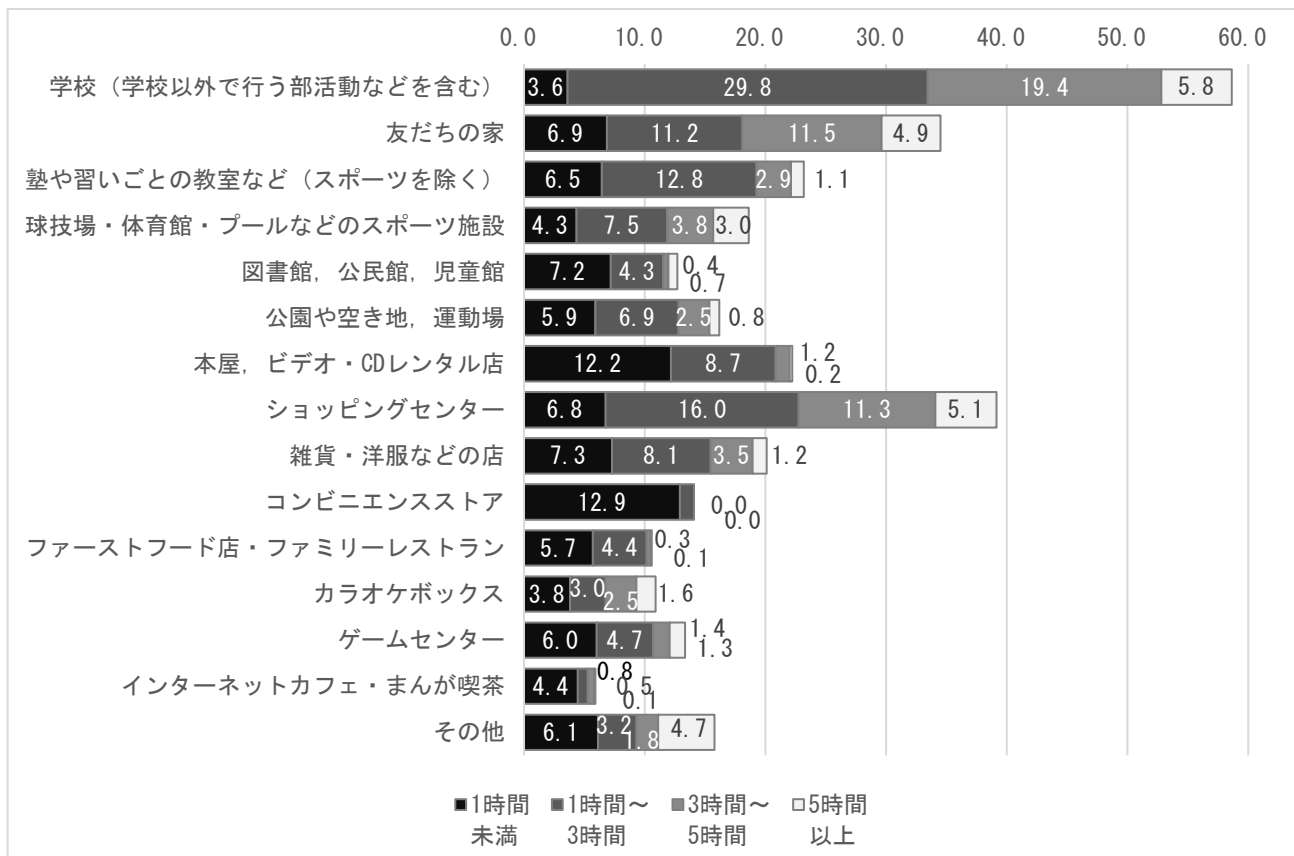
【イ-① 過ごす時間の長さによる内訳】 [小学生 (N=633)]

(%)



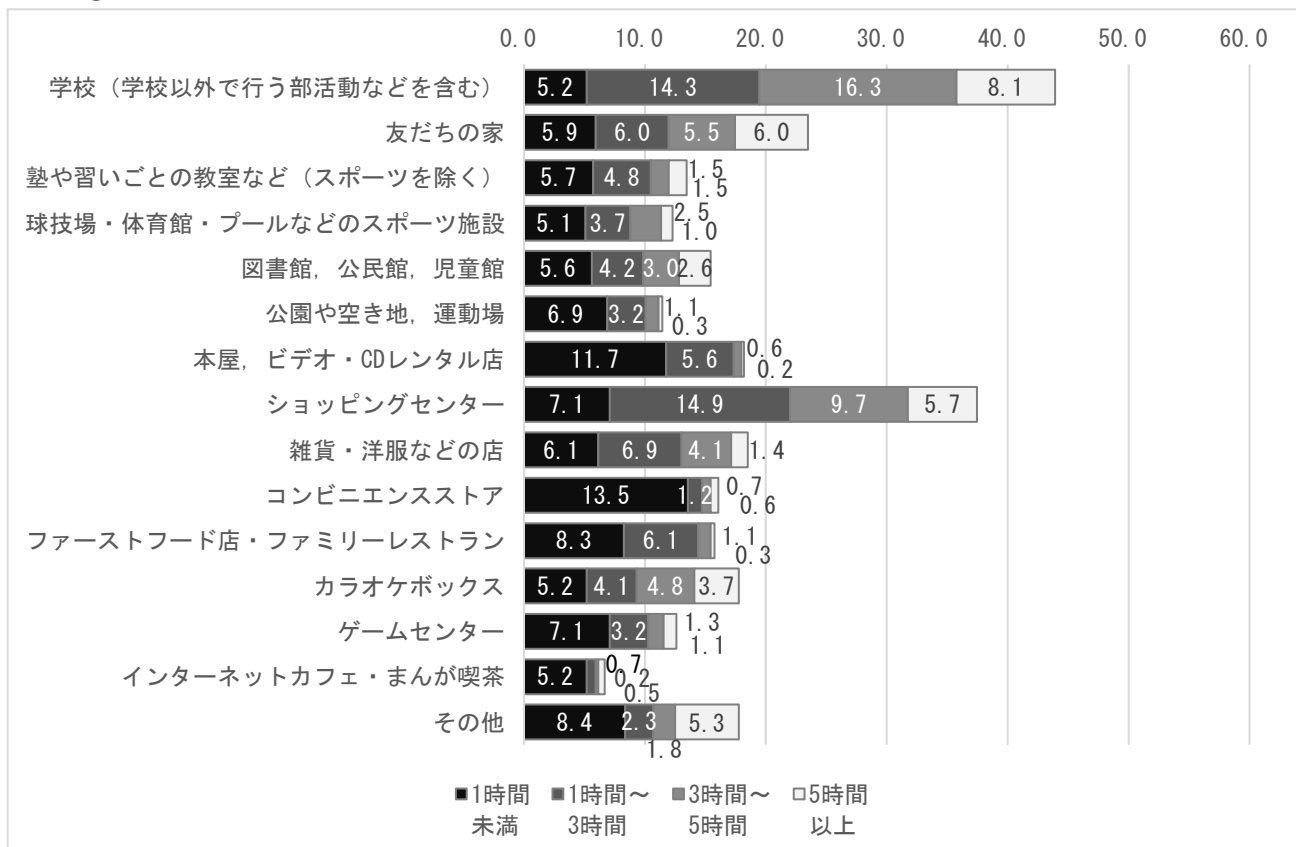
【イ-② 過ごす時間の長さによる内訳】 [中学生 (N=945)]

(%)



【イ-③ 過ごす時間の長さによる内訳】 [高校生 (N=945)]

(%)



「学校」「友だちの家」「ショッピングセンター」では長時間滞在する割合が高くなっており、5時間以上滞在する割合も他の場所より高い傾向がある。

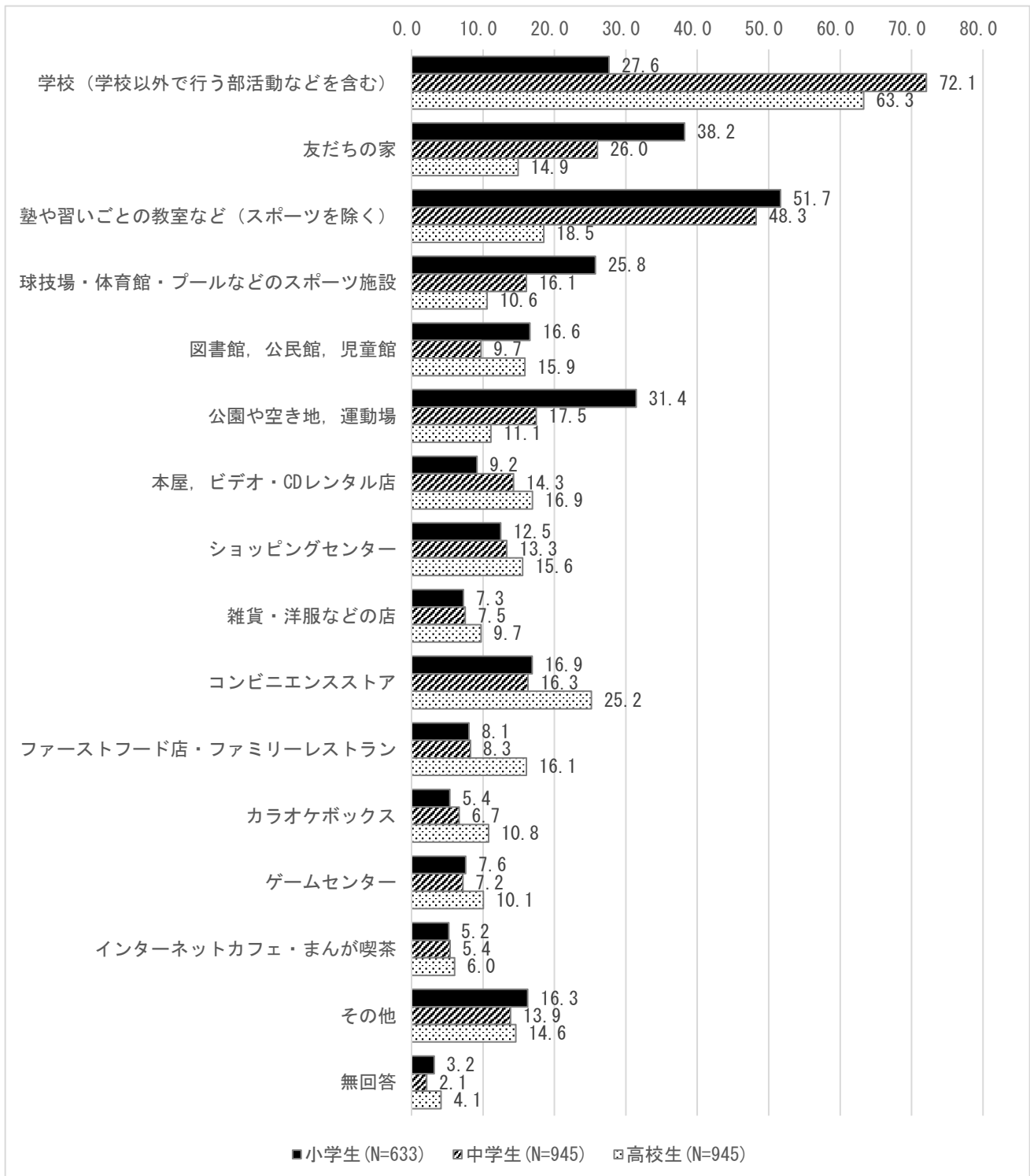
「本屋, ビデオ・CD レンタル店」や「コンビニエンスストア」「ファーストフード店」ファミリーレストラン」では滞在時間は短くなっている。

高校生になると、個室になるカラオケボックスやインターネットカフェ等の利用率も高くなっていく。

(2) 放課後

【ア 過ごす場所】[小・中学生, 高校生] (複数回答)

(%)

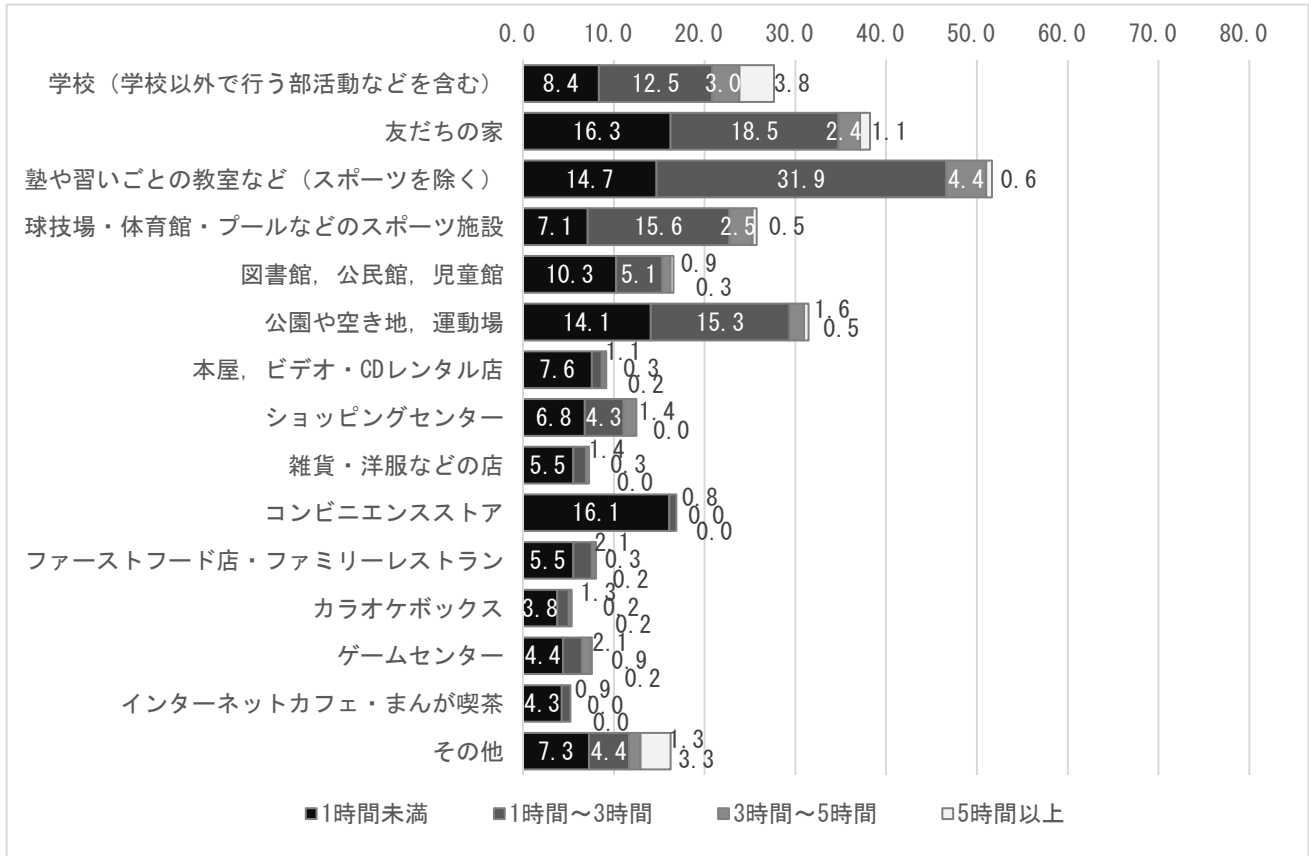


放課後, 中学生・高校生は部活など学校で過ごしている割合が最も高くなっており, 小学生は「塾や習いごとの教室など (スポーツを除く)」の割合が最も高くなっている。

本屋やショッピングセンター, ファミリーレストランやカラオケボックスなど, お金のかかる場所で過ごす割合は小学生のうちは低く, 高校生では高くなっている。

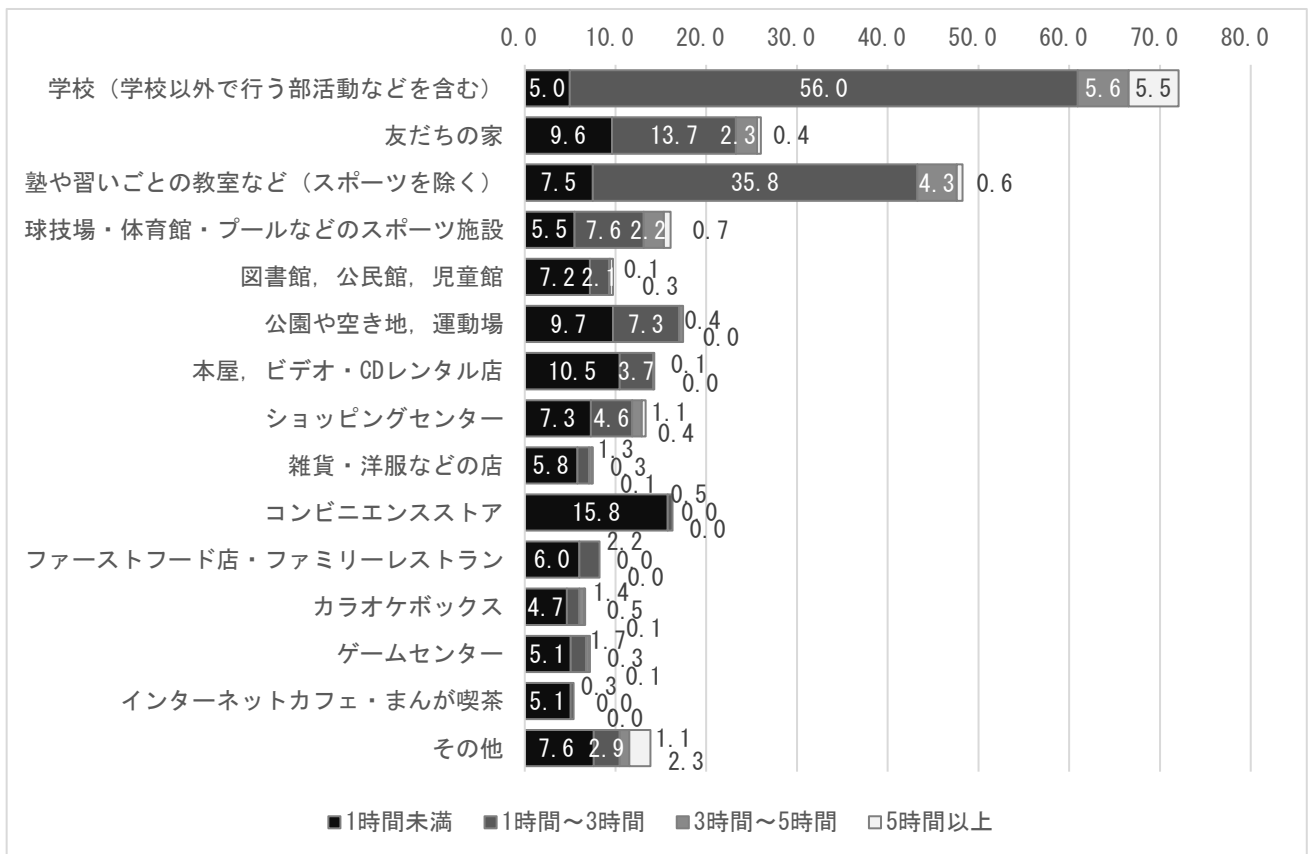
【イ-① 過ごす時間の長さによる内訳】 [小学生 (N=633)]

(%)



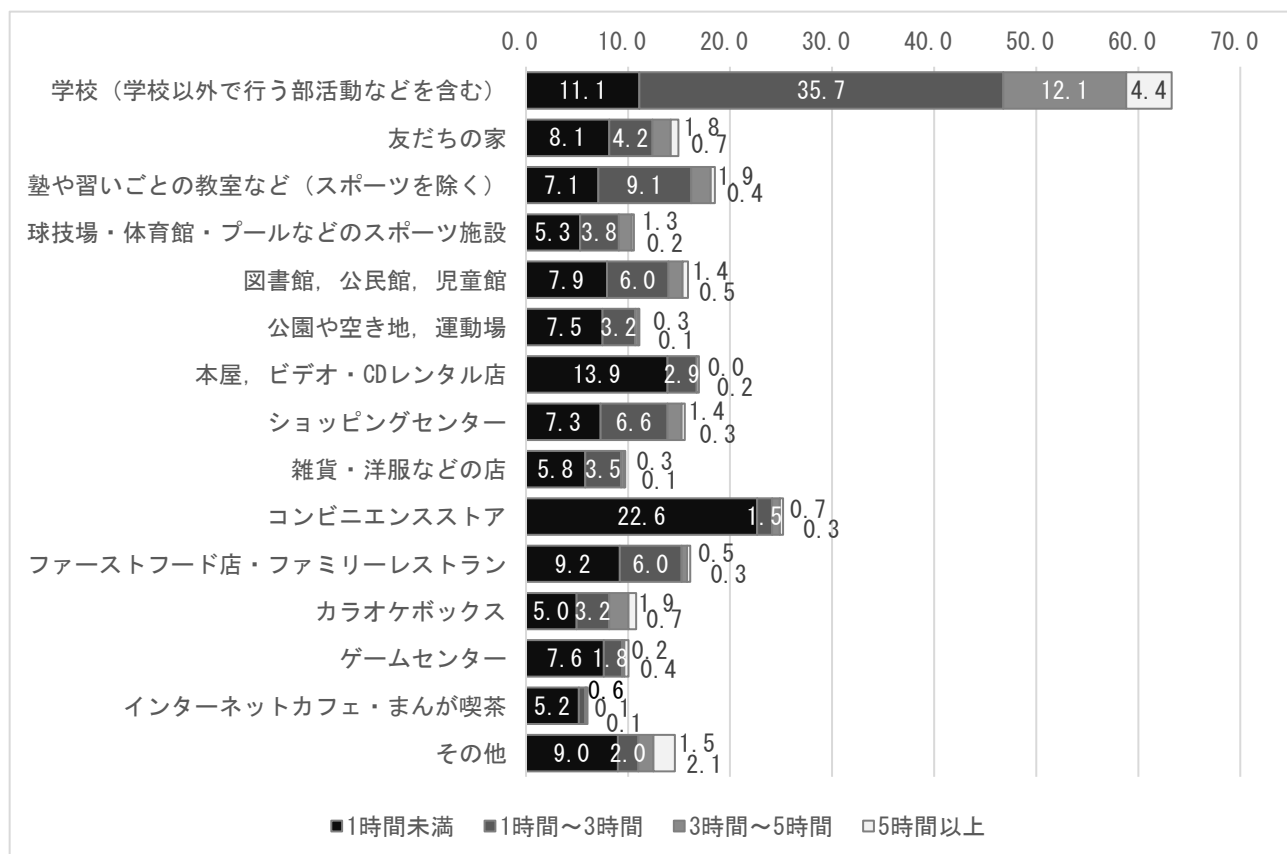
【イ-② 過ごす時間の長さによる内訳】 [中学生 (N=945)]

(%)



【イ-③ 過ごす時間の長さによる内訳】 [高校生 (N=945)]

(%)



放課後は休日に比べて時間の制約があるため、長時間滞在するケースは少ない。
 放課後に過ごす場所は、中学生・高校生では学校が最も割合が高く、滞在時間も長い。
 小学生・中学生で割合の高い「塾や習いごとなどの教室など (スポーツを除く)」は1～3時間を過ごしている割合が高い。

Ⅲ-2 深夜外出について

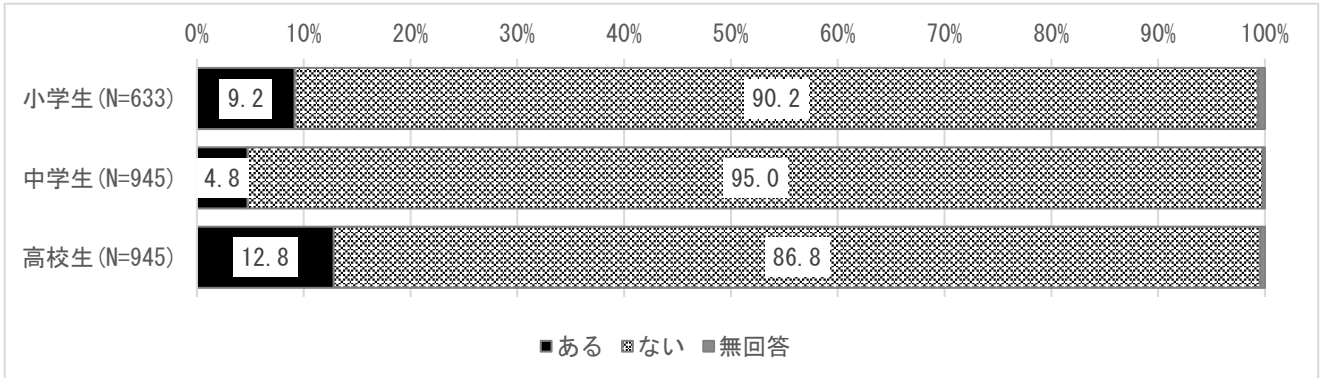
[小・中学生 問10・11][高校生 問8・9]

あなたは、深夜（夜11時すぎ）までに自宅に帰っていないことがありますか。

ある場合、帰宅するまでどのような場所で過ごしていますか。（複数回答）

【深夜外出率】[小・中学生, 高校生]

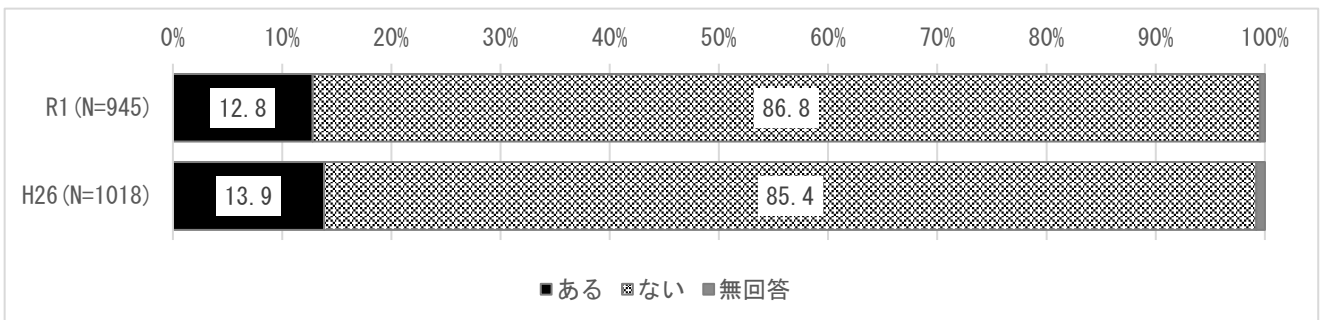
(%)



深夜外出（夜11時過ぎまで帰宅しない）をしている割合は高校生が最も高く、中学生が最も低くなっている。

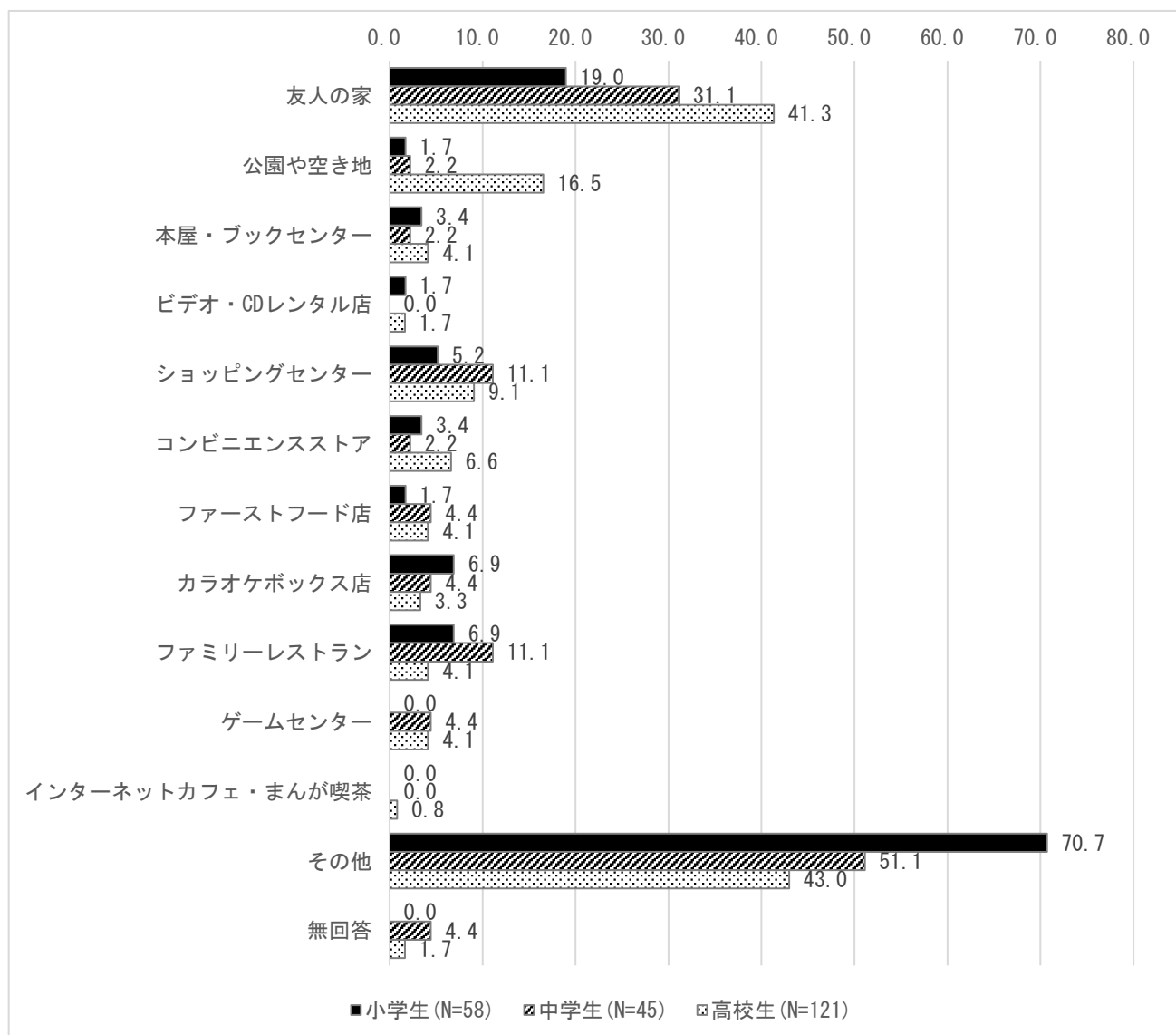
参考：平成26年度調査との比較 [高校生]

(%)



高校生の深夜外出について、平成26年度調査と比較すると、高校生の深夜外出はわずかに低下しており、青少年健全育成条例の普及啓発の効果がみられる。

【（「ある」と答えた人）帰宅するまで，過ごす場所】〔小・中学生，高校生〕（複数回答）（％）



深夜外出時に過ごしている場所は、「友人の家」が最も高い。「友人の家」で過ごす割合は学校段階の進行に従い上昇している。

その他の記述として、小学生で最も多い内容は「旅行の帰りや旅行先での宿泊」（13人），次いで「習い事」（5人），中学生では「スポーツクラブ」（7人），次いで「塾」（3人），高校生では「ライブ」（8人），次いで「帰宅途中」（7人）となっている。

【指標 [高校生の深夜外出の割合]について】

深夜外出の割合（高校生）

基準値 (H26)	目標値 (H32)	実績値 (R1)
13.9%	8.0%	12.8%

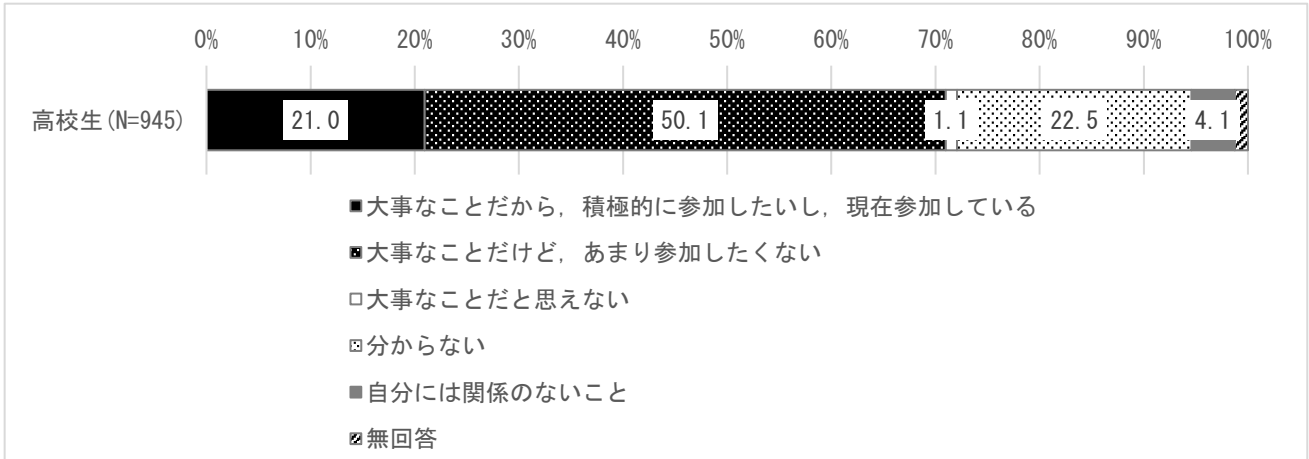
「いばらき青少年・若者プラン（第2次）」における指標名「高校生の深夜外出の割合」の平成32年度の目標数値が8.0%。今回調査では12.8%と，前回調査13.9%を若干上回っている。

Ⅲ－３ 地域活動について

[高校生 問10]

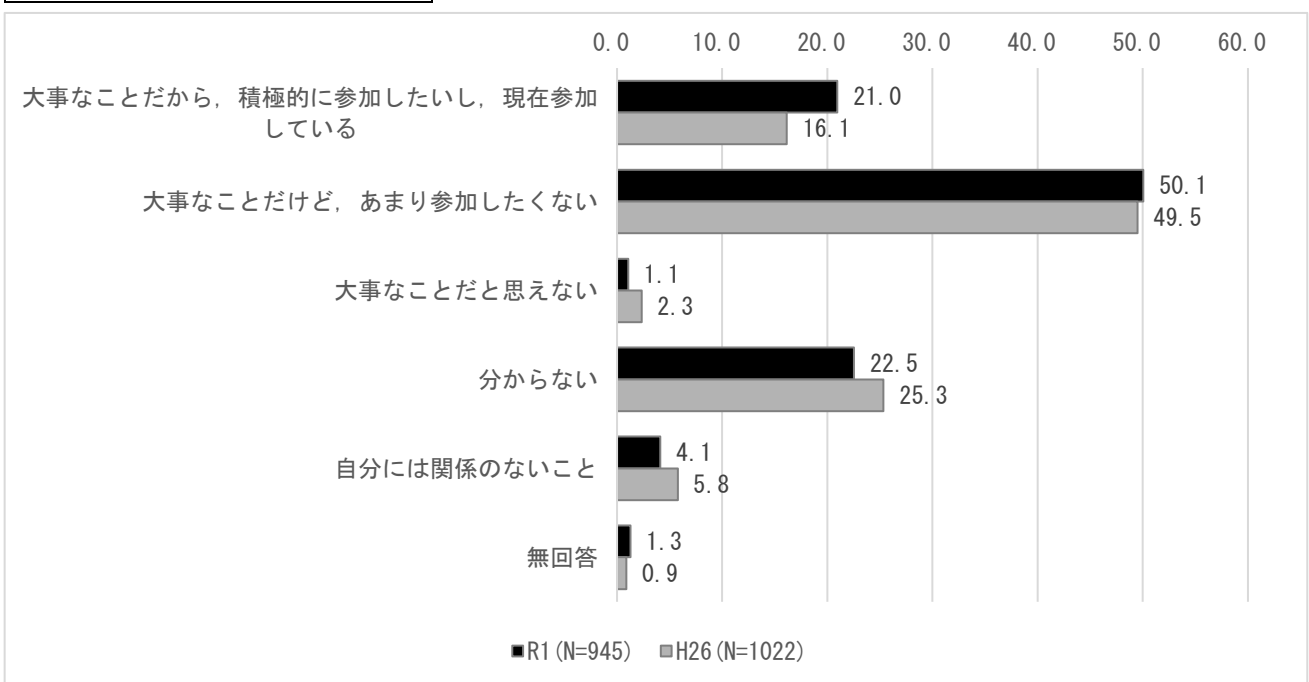
あなたは、地域活動や市民活動について、どうお考えですか（複数回答）

【地域活動や市民活動についての考え】[高校生] (%)



高校生の地域活動や市民活動は大事なことと認識している割合は71.1%となっている。

参考：平成26年度調査との比較 [高校生] (%)

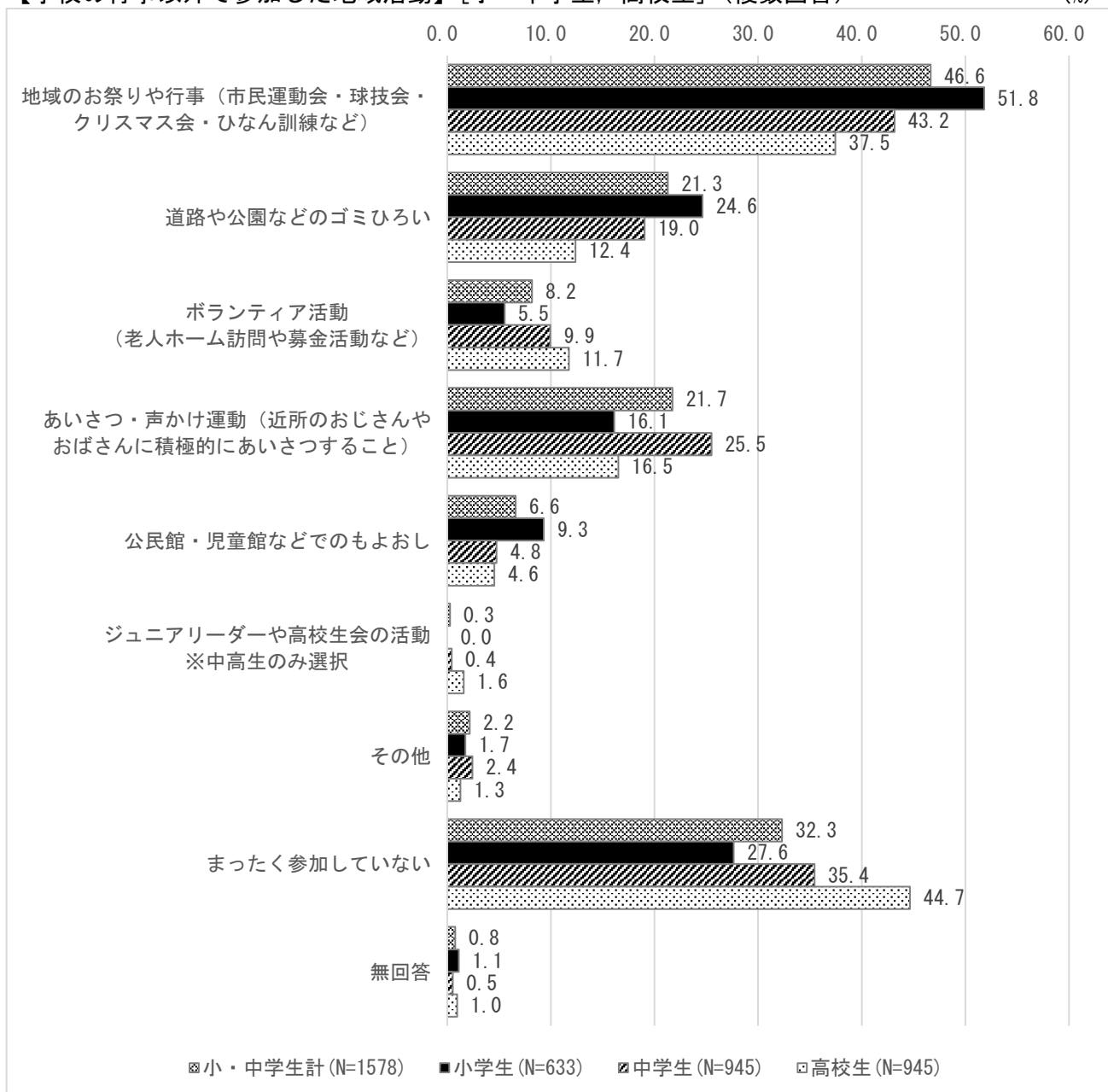


平成26年度調査と比較すると、「積極的に参加したいし、現在参加している」と回答した割合が上昇している。「分からない」や「自分には関係のないこと」の割合は低下している。

[小・中学生 問12] [高校生 問11]

あなたは、この1年間に、学校の行事以外で地域の活動に参加したことはありますか。
(複数回答)

【学校の行事以外で参加した地域活動】[小・中学生, 高校生] (複数回答) (%)



この1年間に参加した地域活動では、「地域のお祭りや行事」が最も高くなっており、中学生より小学生の参加割合が高い。

「あいさつ・声かけ運動」への参加については中学生の割合が高い。

その他の記述では、「ごみ拾い・草刈り」が小学生では7人、中学生では2人挙がっている。

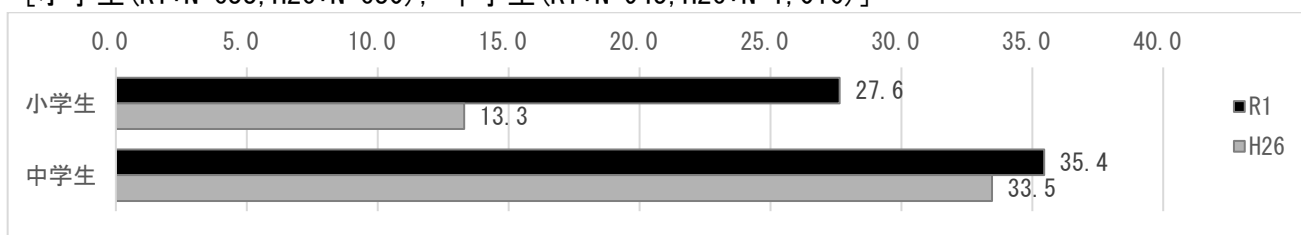
一方で「まったく参加していない」の割合は、学校段階の進行に従い上昇している。

参考：平成 26 年度調査との比較

【活動に参加していない小中学生の割合】

[小学生 (R1:N=633, H26:N=630), 中学生 (R1:N=945, H26:N=1,016)]

(%)



平成 26 年度調査と比較すると、地域活動に参加していない小学生は大幅に上昇している。

【指標 [学校以外の地域活動に参加した小中学生の割合]について】

学校以外の地域活動に参加した小中学生の割合 (小学生・中学生)

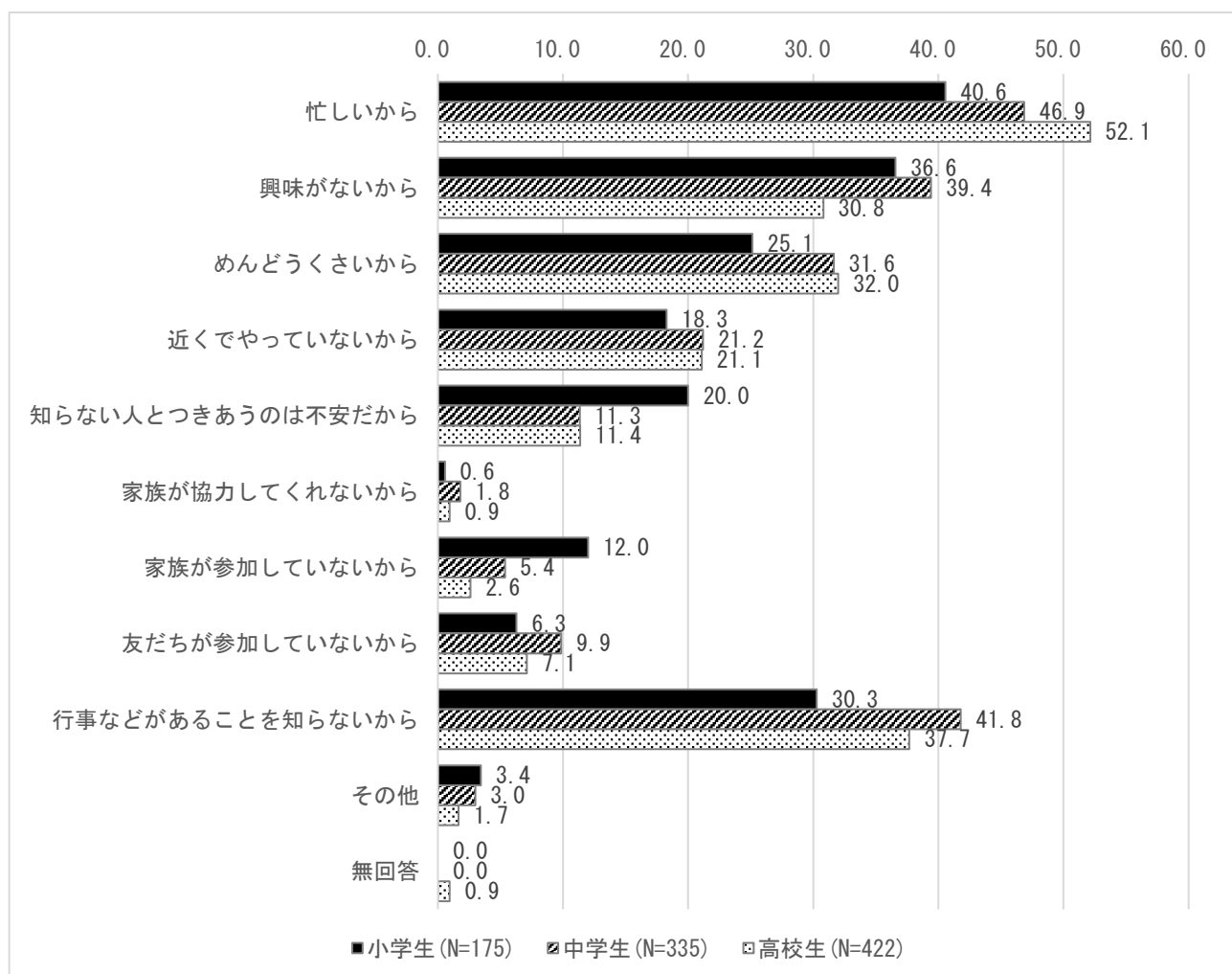
基準値 (H26)	目標値 (H32)	実績値 (R1)
73.0%	78.0%	67.7%

「まったく参加していない」と回答した小中学生の割合 (32.3%) から、参加しているのはおよそ 68%で、前回調査よりも低下しており、目標値の 78%に達していない。

[小・中学生 問13] [高校生 問12]

(まったく参加していない場合) 地域の活動に参加しない理由は何ですか。(3つまで)

【地域の活動に参加しない理由】[小・中学生, 高校生] (3つまで) (%)



「忙しいから」と回答した割合が全ての学校段階で高くなっている。

小学生では、他の学校段階と比較して「忙しいから」「めんどくさいから」の割合が低い、「知らない人とつきあうのは不安だから」および「家族が参加していないから」の割合が高くなっている。